

第66回 FM八女番組審議委員会 議事録

- 1 開催日 令和5年4月26日（水） 午後4時30分
- 2 開催場所 FM八女サテライトスタジオ（八女市民会館おりなす八女1階）
- 3 出席者 出席者総数 7名
委員総数 7名
出席委員 4名 青木歳男 山口寛記 井上卓也
松本さゆり
レポート提出委員 3名 酒井裕樹 原田郁弥 元村乗子

放送事業者側出席者 3名 高木祥平 木下晴菜 中島直樹
- 4 議題 「がまだすワイド801水曜日版」
令和5年4月5日（水）12:30～15:00 放送分
- 5 議事の概要 放送事業者が事前にCDに収録し、資料とともに各委員へ届けていた。
上記の番組について、モニター後の感想を全委員に述べていただいた。
- 6 番組内容 地域密着型情報番組
- 7 審議内容
 - ・八女っっちゃよかとかボイスリレーのコーナーではゲストが働いている施設「かがやき」についてわかりやすくお話されていて良かった。温泉の話が出たが、料金がわからなかったなのでパーソナリティから質問すると良いと思った。ゲスト宛にメッセージも来るなど、久しく会っていない人とも繋がる機会となり良いコーナーである。
 - ・八女のロマンのコーナーでは、電話出演時の音質が悪く聞き取れないところがあった。しかし、紹介されていたイベントは魅力的で行ってみたいと思った。開催される円福寺のアクセス情報や駐車場情報もあったが、円福寺のことを初めて聞いた人でもわかるような丁寧な説明があるとより良いと思った。
 - ・げんき館おおぶちだよりのコーナーは施設（げんき館おおぶち）のことを深く知るきっかけになった。存在は知っていたが、今回の放送を聞き、ホームページを調べ新たな発見もあった。八女市内には同じように都会では出来ない非現実的な体験ができる施設がある

ので、番組でいろいろな施設を紹介できると良いと思った。

・地域おこし協力隊のコーナーでは、移住してきた人が抱く八女の良いところやPRしていきたいものを聞いて面白かった。八女市在住のリスナーにとって、違う視点からの話として新鮮に聴けると思う。地域おこし協力隊の方がお住まいの地域「国武」を「八女福島の方」と言われていたが、実際は八幡地区なので誤解のないように伝えていくべきだと思った。

・方言カルタは地元の方でもわからないレベルの方言で、実際の意味もわからないまま終わってしまったので「方言」と「標準語」と両方わかるようにするか、クイズコーナーにしてしまって答えの発表まで行くと良いと思った。また、カルタは購入できるものなのかわからなかったが購入できるのか。

⇒カルタを制作した団体から依頼を受けてFM八女で収録した音源を放送したものである。カルタの購入については制作団体への問い合わせが必要で、八女市内のお店などで販売されているものではない。

・全体を通じてユーモアのある楽しい放送だった。冒頭にコーナーの説明が無いと初めて聞いた人はわからないので、各コーナーの最初に説明を入れてほしいと思った。「ヘアスタイルにまつわるの思い出」というメッセージテーマでバブル期の髪型の話題などがあり50代近辺などには特に楽しい内容だった。知らない世代のリスナーの為に「それって何ですか？」などパーソナリティが深掘りしていくことで、今後も楽しい番組作りをしてほしい。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

9 次回の番組審議委員会

日時 令和5年6月22日（木） 午後4時00分

場所 FM 八女 会議室

社名	一般財団法人 FM八女
----	-------------